



さか い だ  
坂井 田

しげる  
茂

いっ しん かい  
一 津 会



### 教員支援員の全校配置は、いつ完了するのか

**問** 教育方針の中で、令和元年度は教員支援員7名を11校に配置した結果「教員が子どもたちと向き合う時間の確保に十分効果があった」とあり、成果が表れた取り組みとして評価できる。

しかしながら、令和2年度の市費での教員支援員の配置人数は1名のみの増員であり、拡大とは言い難い。

早急に全ての学校に配置すべきと考えるが、見解を問う。

### より多くの学校に配置できるよう取り組む

**答** 教員支援員は、教員の事務作業などの負担軽減を図り、教員が子どもたちと向き合う時間を確保することに効果があり、令和元年度は、その教員支援員と同様の県事業であるスクール・サポート・スタッフを、一志中学校と久居西中学校に2名配置した。

さらに拡大することを県へ強く要望した結果、令和2年度は市費での教員支援員は1名増であるが、県に対し、事業拡大を強く要望した結果、10名以上の配置が可能となった。

今後も教員支援員または県のスクール・サポート・スタッフを、より多くの学校に配置できるように取り組んでいく。

### ●その他の質疑・質問●

○学校プール施設と水泳授業に関して

- 学校プールの修繕状況や維持管理費等について

- 市営や民間のスイミングプールで行う民間委託事業について

○新型コロナウイルスによる肺炎感染拡大防止策について

○「外国につながる子どもの教育支援プロジェクト事業」について など



▲日本語指導を行う「きずな教室」の教育支援の様子



ふく た けい いち  
福 田 慶 一



しみん  
市民クラブ

### 国土強靱化地域計画に対する考えは

**問** 災害への備えに漏れがないか、常にチェックし、対策を磨いていく姿勢が行政には欠かせない。その中で現状を洗い出して進行管理を行う上で評価指標が必要だと思うが、評価指標に対する考え方はどうか。

また、国の国土強靱化地域計画への支援は、9府省庁所管の46の交付金および補助金と限られているが、この46分野以外に対して、市はどう考えるのか。

### 国に対して支援の拡充を要望していく

**答** 評価指標の設定は、国土強靱化地域計画の策定要件には含まれておらず、自治体の判断に委ねられている。

また、評価指標の設定は、その達成が自己目的化する懸念があること、国土強靱化事業を進めることが計画の第一目的であることから、評価指標を設定せずに計画を策定した。

国による9府省庁46の交付金および補助金だけでは、津市の国土強靱化施策の全てをカバーできない。

そのため、今後、国に対して、有効と考えられる他の施策についても、支援の拡充を要望するなど、津市の国土強靱化のための事業を進めていく。

### ●その他の質疑・質問●

○教育方針から

- 子どもの学力向上について

- 子どもの安全確保について

○指定管理者制度について

- 道の駅津かわげの事例は

- 津市における現状について

○大規模災害団員等の考え方は

○閉校後の校舎などの活用は

○がん検診の受診率向上対策について

### がん検診と健康診査のご案内



▲がんの早期発見、早期治療のために、市民への受診勧奨を